

[04_06]九州大学大型計算機センター広報表紙奥付等

<https://hdl.handle.net/2324/1467992>

出版情報：九州大学大型計算機センター広報. 4 (6), 1971-12-03. 九州大学大型計算機センター
バージョン：
権利関係：

第20回全国共同利用大型計算機センター運用会議

議 事 要 旨

日 時 昭和46年9月17日(金)

場 所 名古屋大学大型計算機センター会議室

議 事

I 報告事項

各センターの現況について報告があった。

II 承合事項

将来のセンター運用と管理について

とくに、時間外の運転とシステム管理およびメーカーSE駐在の問題について、各センターの実情が述べられた

II 審議事項

1. TSSの利用基準について

TSS端局の利用基準に関し、すでに実施しているセンターの実情について意見交換があり、なお、いくつかの問題に関して、今後とも検討を継続することになった。

2. 運用会議議事要旨の広報への掲載について

運用会議議事要旨を会議開催校が作成し、各センターでそれぞれの広報に掲載することになった。

3. 利用負担金問題について

料金・負担金問題小委員会から中間報告があり、次の点を了承し、さらに検討することになった。

- (1) 金額は、 A (一定値) + BT ($OPUT$ に比例する部分) とすることは望ましいという意見もあるが、各センターの現状を拘束するものではない。
- (2) 同一機種 of 計算機については、原則として、負担金額はほぼ同一であることが望ましい。
- (3) この問題については、広報等により利用者にも充分周知する。

4. その他

- (1) 学部学生の卒業研究のための計算機利用に関して、指導教官が課題を申請し、その責任において、バッチ、ジョブに限って利用させることを、京都大学が試験的に本年度実施することを了承した。
- (2) TSS端局のコンパティビリティに関して、センター長連名で各メーカーに協力を申し入れることになった。
- (3) 運用会議は、今後3か月ごとに開催することになった。
- (4) 日本学術会議情報科学小委員会から、学術研究用大型電子計算機に関する将来計画(原案)について報告があった。